JSCA 北海道支部　「構造設計交流会 2017」報告

JSCA 北海道支部　事業委員会　久次米 薫

2017 年 10 月 20 日（金）に第 7 回となる構造設計交流会が開催されました。

構造設計交流会は昨年に引き続き、金曜日にさっぽろテレビ塔を会場として開催されました。下記に示す 3 部構成のプログラムで行われ、学生 9 名を含む、過去最多となる合計 76 名の参加者による大変盛況な会となりました。

＜プログラム＞

開会挨拶　：　JSCA 北海道支部事業委員長　宮本守

第一部　：　作品発表会　（15：00~16：50）（司会：島田・宮本）

＜発表作品＞

① 角野大介氏／㈱北海道日建設計
作品「タムロンキッズ保育園（埼玉県さいたま市）」

② 長谷川純氏／㈱石本建築事務所
作品「木材・鉄・コンクリートの素材を活かした構造計画
相模女子大学小学部さくら館」

③ 山脇克彦氏／㈱山脇克彦建築構造設計
作品「構造デザイン 2017 神社山の隠れ鳥居の家・Le Pont・
掘立柱の家・ヨシダ明野北工場乾燥材養生倉庫・Table」

④ 寺田隆一氏／㈱日建設計（元 ㈱北海道日建設計）
作品「～天井十色～ 名寄市立大学図書館」

⑤ 藤嶋健太氏／清水建設㈱
作品「積雪 2mの豪雪地帯でロングスパンの大空間建築に挑戦！」

⑥ 島田知典氏／岩田地崎建設㈱
小ネタ「BIM 取り組み始めました。」

⑦ 有竹 剛氏／㈱竹中工務店
作品「大野病院」

⑧ 末木達也氏／大成建設㈱
小ネタ「大成札幌ビルのご紹介」

⑨ 長谷川圭一氏／㈱竹中工務店
小ネタ「仕上げ材の構造的な挙動など」

⑩ 嘉村武浩氏／㈱北海道日建設計
小ネタ「多雪地域でキャンチに挑戦」

第二部　：　森高英夫 JSCA 会長　特別講演（16：50~17：55）（司会：内山）

第三部　：　意見交換会　（18：00~20：00）（司会：今）

閉会挨拶　：　JSCA 北海道副支部長　渡邊 和之

【第一部：作品発表会】

今年の作品発表会は 5 作品＋小ネタ 5 点と盛り沢山の内容であり、設計者各位の多様な創意・工夫について説明されました。作品は木質空間の魅せ方や木材の流通性、工法に視野を広げた設計の紹介がなされました。また建築計画の周遊性を構造的にうまく解決したケース、積雪荷重を法規定値に留まらず、丁寧に調査して設計に盛り込み、多雪地域におけるロングスパン架構を構成した事例が紹介されました。

小ネタでは道内プロジェクトの紹介のほか、非構造部材の挙動や BIM の採用により配筋納まりを検討した例など、近年話題に上がることが多い技術情報の紹介がなされました。

講演は、作品発表・小ネタ紹介何れも大変興味深い内容となり、活発な質疑応答が展開されました。

角野大介氏

長谷川　純氏

山脇克彦氏

寺田隆一氏

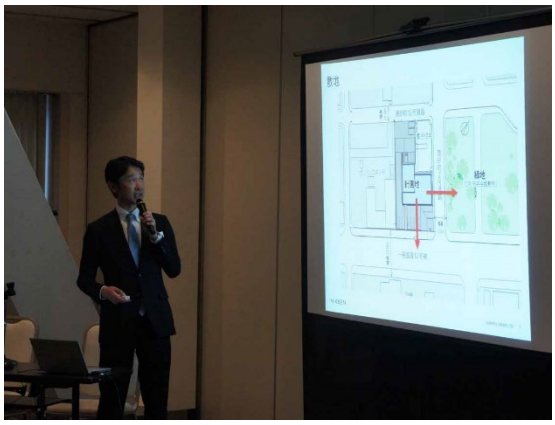
藤嶋健太氏

島田知典氏

有竹　剛氏

末木達也氏

長谷川圭一氏



嘉村武浩氏

【第二部：特別講演　森高英夫 JSCA 会長】

第二部は森高英夫 JSCA 会長をお招きし、JSCA の組織構成、各委員会の活動内容をご紹介いただきました。その後に、昨年森高会長が第 3 者的な専門技術を確認する立場として、東京都市場問題プロジェクトチームの一員として参画されましたが、その時の状況について説明がなされました。

構造計算偽装事件を端緒として世間に流布している構造設計（者）に対する誤解を払拭すべく、構造計算は構造設計の「一部」でしかないこと、そして我々、構造設計者も分かりやすい言葉で「構造設計」を社会に説明していくことの重要性について、お話し頂きました。

森高会長は、就任以来、「学生会員の増大」を事業目標の一つに掲げておられますが、質疑応答では学生さんからも積極的な質疑が提示され、ベテランから若手技術者まで有意義なコミュニケーションが繰り広げられました。

森高英夫 JSCA 会長

学生との質疑応答

【第三部：意見交換会】

第三部は会場を別室に変え、軽食とビール等の飲み物が加わり、意見交換会となりました。実務者相互が様々な技術交流や意見交換が図られるとともに、森高会長をはじめ、設計実務者の先輩の声に耳を傾ける学生さんが多く見受けられ、非常に明るく盛況な中で、意見交換会は御開きとなりました。

以　上